

第4問 (10点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	売掛金	125,000	売上金	120,000 5,000
②	仕入	125,000	買掛金	125,000
③	買掛手数料	125,000 300	当座預金	125,300
④	普通預金	125,000	売掛金	125,000

①～③につき2点を与える。④は4点を与える。合計10点。

第4問

請求書と当座勘定照合表から仕訳を把握する問題です。

1. 北川商事が商品を発送した時

請求書より売上金額と送料を読み取ります。なお、送料を現金で支払っていますが、南野産業に請求しているため相手方負担として処理します。そのさいに、指定勘定科目に立替金勘定がないため、売掛金勘定に含めて処理します。

(売掛金)	125,000	(売上)	120,000
		(現金)	5,000

55

2. 南野産業が商品を受け取った時

請求金額に送料が含まれていることから、仕入諸掛りは南野産業が負担します。したがって、南野産業負担の仕入諸掛りを、仕入れた商品の本体価額に含めて処理します。

(仕入)	(*)	125,000	(買掛金)	125,000
(*)	120,000円 + 5,000円 = 125,000円			
	商品	送料		

3. 南野産業が代金を振り込んだ時

南野産業宛の当座勘定照合表により、南野産業は当座預金口座から買掛金の支払いを行ったことがわかります。したがって、貸方は当座預金勘定の減少となります。なお、振込手数料については支払手数料で処理します。

(買掛金)	125,000	(当座預金)	125,300
(支払手数料)	300		

4. 北川商事が代金の振り込みを受けた時

請求書の振込先に「普通」とあるので、売掛金の回収額は普通預金口座に振り込まれたことがわかります。したがって、借方は普通預金勘定の増加となります。

(普通預金)	125,000	(売掛金)	125,000
--------	---------	-------	---------

(81)